

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



**UNITE
FOR
GOOD**
よいことのために手を取りあおう



ガールスカウトとクリーン作戦

2025-26年度 RI会長／フランチエスコ・アレツツォ
RI.D2590ガバナー／大塚 正一
横浜旭RC会長／五十嵐 正



第12回 チャリティーコンサート



防災先進国イタリアに学ぶ講演会開催

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33 / 〒241-0836
TEL.080-1215-6668 / FAX.045-362-0024
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川駅ジョイナステラス3 / 4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日 / 12時30分～1時30分

2026年2月18日 第2606回例会 VOL.57 No.23

- 司会 幹事 関口 大樹
- 開会点鐘 会長 五十嵐 正
- 出席報告

会員数	20名	本日の出席数	13名
本日の出席率	73.68%	修正出席率	84.21%

■本日の欠席者

中谷、二宮、佐藤（真）、宋

■オンライン出席者

福村

■ゲスト

西富 弘志様 (㈱ダスキン レントオール事業部・事業部長)

■会長報告

五十嵐 正

皆さん、こんにちは。

本日も例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

昨日、新川さんとともに、友好クラブである岩沼RCの例会に出席してまいりました。

まず、これまで15年にわたり温かい交流を続けてこられましたことへの感謝をお伝えいたしました。そして、現在私たちが取り組んでおります防災エコバッグ「まもるくん」事業の経緯と目的についてご説明し、これまでのご協力に対して改めて御礼を申し上げます。

例会では、先日のチャリティコンサートに参加された会員の報告もあり、活動の広がりを実感する機会となりました。例会では新川さんからチャリティコンサート事業の立ち上げの背景

や想いについて説明があり、さらに旭区での取り組みや学生たちの関わりについても紹介させていただきました。

他クラブの例会で、私たち横浜旭の活動が紹介される場に立ち会うのは初めての経験でしたが、「なかなか良い活動をしているではないか」と、客観的に自クラブの歩みを見つめ直す貴重な時間となりました。

例会終了後には、今回「まもるくん」の縫製を担当してくださった清野さんとも直接お話をすることができました。事業の目的、とりわけ小学生に特化した防災教育支援としての展開や、今後の改良点についてご説明したところ、快くご理解とご協力をいただきました。

そして早速、学校関係者への説明用として、新たな「まもるくん」を制作していただけることとなりました。事業がここまで一気に前進したのは、まさに15年にわたる岩沼クラブとの信頼関係があってこそであり、その重みと有り難さを改めて実感してまいりました。

今後もこのご縁を大切にしながら、子どもたちの安心・安全につながる活動を着実に進めてまいりたいと思います。

■幹事報告

関口 大樹

※例会臨時変更のお知らせ

○横浜田園ロータリークラブ

3月17日(火) 休会

3月31日(火) 花見例会

■ニコニコ BOX

岡田 隆／本日は卓話の時間を頂き、私共の事業の一部を紹介させて頂きます。どうぞよろしくお願ひ致します。

安藤 公一／①西富様、本日の卓話よろしくお願ひします。②ミラノ・コルティナ冬季五輪での日本選手の活躍を誇らしく思います。あと5日間、引き続きガンバレ ニッポン

新川 尚／西富事業部長、本日の卓話よろし

くお願ひします。

関口 大樹／ダスキン西富様、本日の卓話、よろしくお願ひします。

中島 徹／西富様、本日の地域減災のお話宜しくお願ひ致します。

五十嵐 正／ダスキンの西富様、本日の地域減災のお話楽しみにしております。よろしくお願ひします。

■防災支援活動について

西富 弘志様



ダスキン レントオール事業とは

モノを生かし、人を生かし、
人々の生活を豊かにする事業

30店舗 50店舗 80店舗 97店舗 ※2025年12月末現在

1978 > 2025

家庭市場
子育て用品のレンタル
ベビー用品のレンタル
おそうじ家電 暮らし関連商品

業務市場
イベントの総合サポート
イベント関連商品のレンタル 企画・制作
現場施工・オペレート 運営

防災への取り組みについて

災害発生時の避難所開設に特化したお役立ちをご提案！

- 豊富な商品・サービス力 → 避難所開設に必要な約100アイテムの商品を常備
- 緊急時に備えた供給体制 → 発災時、緊急時のご連絡後に敏速に供給
- 広域災害の時も安心サポート体制 → 担当店が被災した場合も安心他店舗が代わって対応
- 事前に設定協定価格 → レンタル品の料金運搬料金も平時と同様の価格設定

2021年にサービスを開始し、全国98自治体と「災害協定」を締結。現在も、多くの自治体と協定締結へ向けた協議が進行中。

「防災サポートサービス」のシン化

シン化する 防災サポート | 災害時の備えを強化し、即応体制を確立

有事(発災時) 2021年7月～

- 避難所開設・運営サポート
 - 1 レンタル商品供給: 避難所開設に必要な約100種の商品を供給
 - 2 避難所衛生サポート: 感染症対策商品供給・巡回清掃サービス実施
 - 3 敏速な供給体制: 全国の拠点網で供給対応を敏速に実施

平時(災害即応体制) 2025年6月～

- 減災トレーニングパッケージ
- 1 地域減災パッケージ: 命を守る行動力を醸成
- 2 災害対策本部運営パッケージ: 中枢機能の統率力の向上
- 3 避難所運営パッケージ: 暮らしを守る基盤を確保

防災サポート 各分野の強みを活かした協力体制の構築で、サービス品質を向上

物流領域 アライアンス先 **丸和運輸機関**

2024年7月に物流大手である丸和運輸機関との「災害時における相互協力協定」を締結。これにより、有事に避難所へ安定した商品の供給が可能に。

丸和運輸機関：物流大手で、BCPIに強みを持つ。
2023年、政府の災害対策基本法「指定公共機関」に認定



防災領域全般 アライアンス先 **減災ソリューションズ**

2025年6月に防災・減災の知見に優れた減災ソリューションズとの「号災・減災への取り組みにおける相互協力協定」を締結。「命とくらしを守る」為のサービスを共同で開発。

減災ソリューションズ：警察・消防・医療・研究者等、災害分野を専門に活動してきた有識者が起業。圧倒的な知識と経験を保有。



地域減災パッケージ 命とくらしを守る、3つの「減災トレーニングパッケージ」

1 地域減災パッケージ

効果の上がる防災訓練の企画・運営をサポート



自助・共助・公助一体で地域減災力を向上

2025年6月30日より、ダスキンレントオールが全国で初めて「Rescue Training Module®」のレンタルを開始。レンタルで提供することによって、費用負担を抑え、実践的で安全な「救助訓練」が円滑に実施可能に。



Rescue Training Module®



地域減災パッケージ 命とくらしを守る、3つの「減災トレーニングパッケージ」

2 災害対策本部運営パッケージ

各機関のスムーズな連携のための実践的訓練をサポート



災害対応の中核機能を抜本強化

実災害時は大量の情報が流れ込み、混乱が生じ、意思決定の遅れが被害拡大を生む恐れが。災害の全体像を把握する情報の集約手段の確保や、迅速で正確な意思決定の訓練など、スムーズな連携のための実践的訓練をサポート。



地域減災パッケージ 命とくらしを守る、3つの「減災トレーニングパッケージ」

3 避難所運営パッケージ

発災後、衛生に配慮した避難所立ち上げ、運営までをサポート



備えと実践でやさしくキレイな避難所へ

発災時の混乱した状況の中では、避難所の立ち上げに必要な手順の確認や物資の手配、役割分担などが進まず、初動の遅れる恐れが。実際の被災状況を想定し、発災からの要請、運送、避難所の開設から運営までの流れをリアルに再現。



機能的な避難所レイアウト例



実績① 緊急消防援助隊近畿ブロック総合防災訓練



救助の「プロ」である緊急消防援助隊の合同訓練の実施を受託

訓練概要

本 番 日:10月25日(土)26日(日)
 実施場所:奈良県
 訓練内容:①倒壊建物救出訓練
 ②土砂崩落救出訓練
 ③中高層ビル救出訓練 等



Rescue Training Module® とは
 本造倒壊建物の閉じ込め現場を安全かつリアルに再現した可搬式モジュール。
 これまでの救助訓練ではなかった、実災害さながらの訓練の実現により、参加者からは「非常に学びの多い訓練だった」、「実践的な訓練で大きな経験が出来た」と感想を得ることができた。

実績② 大阪市城東区中浜地域 自主防災組織 防災訓練



「自助」「共助」を担う、自主防災組織の防災訓練への協力で地域防災力向上

訓練概要

本 番 日:11月30日(日)
 実施場所:大阪市城東区
 訓練内容:①倒壊建物救出訓練
 ②地域保有資器材の使用法説明



自助・共助を高める意義 阪神大震災における救助活動の主体
 過去の災害現場では、救助部隊の「公助」 公助15%
 よりも「自助・共助」により、早く多くの救助
 が実現している。 自助・共助 85%
 自助・共助を担う一般市民の防災意識向上
 が実現できれば、災害時により多くの「命」
 を救う可能性が高まることとなる。 東灘地震科学研究所報告

実績③ 災害協定締結自治体との避難所開設訓練



災害協定を締結している各自治体と「避難所開設訓練」を実施

訓練概要

「災害協定」を締結している全国の自治体と毎年1度、避難所開設訓練を実施。
 実施場所:全国8地域 (2024年から実施/今年で2回目)
 実施内容:災害協定に基づき自治体から避難所開設の要請を受け、
 該当店舗及び周辺店舗が協力して避難所開設訓練を実施。



訓練の流れ



「減災」を基本とした取り組みで、地域への貢献を



災害の発生を完全に抑えることは不可能

▶ 防災の基本は「減災」

- ◎ 被災したとしても人命を失わないことを最重視する
- ◎ 経済的被害をできるだけ少なく抑える

減災を「美装」するために...

リアルな災害状況に基づいた知識と経験、
 そして独自のノウハウを持つ両社が手を組み、
 防災訓練等を通して「災害」に備えることで、
 被害の最小化を追求することが重要。

G E N S A I

地域減災
パッケージ

災害対策本部運営
パッケージ

避難所運営
パッケージ